

第6回 甘いみかんの見分け方が分かった！みかんの収穫体験

月 日：令和4年10月27日（木）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 6年生31名

6年生の児童31人が、三重大学の先生からみかんの育て方や収穫用はさみの使い方、甘い温州（うんしゅう）みかんの見分け方などを教わり、収穫体験をしました。

子供たちからは、「みかんを取るハサミの刃先が、どうして反っているの？」など質問があり、大学の先生から実際に見本をみせていただき、「みかんを傷つけないようにするためです。」など丁寧に回答いただきました。



甘い温州みかんの見分け方の1つは、赤みがかったものを選ぶことなどの説明を聞きました



農場からみかん収穫用のはさみを借り、一人一人収穫に向かいます



教えてもらった見分け方で甘いみかんを収穫するため、みかんの実をよく観察していました



袋一杯分のみかんを収穫させてもらいました。みかんは、家に持ち帰り、家族と食べます

～子供たちの感想～

「みかんの収穫は、初めてだったのでとても貴重な体験をさせてもらえた。」

「美味しいみかんの見分け方など、知らないことが分かって良かった。」

「おいしいみかんを見分けるコツを教えてもらって、15個もとることができて楽しかった。」などの声が聞かれました。

～先生から一言～

「おいしいみかんができるまでの生産者の大変さや、おいしいみかんの見分け方を教えていただきながら、楽しくみかんの収穫体験をさせていただき、子どもたちは大喜びでした。」（担任）